

県政を
身近に

あらい絹世の
磯っ子レポート
www.araikinuyo.jp

◎編集:新井絹世
横浜市磯子区丸山 2-24-3
◎電話:045-751-5250
◎FAX:045-761-7451



自民党は児童虐待ゼロを 目指します

今年の6月、大阪市西区で23歳の母親が幼い子供を2人マンションに置き去りにしたまま2ヶ月間放置し、2人の子供は衰弱により死亡しました。

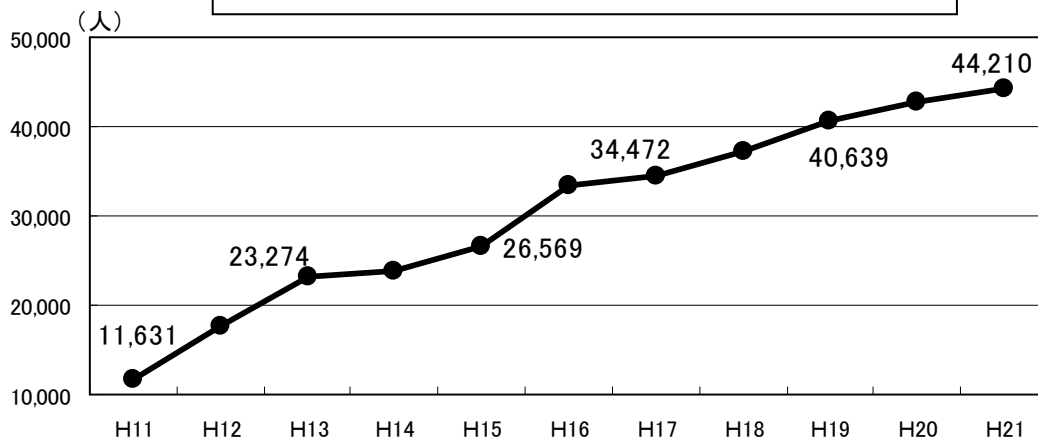
児童虐待の件数は年々増加の傾向にあります。児童虐待防止法施行前の平成11年度と比べて、昨年の平成21年度は児童虐待相談の対応件数が4倍にも増えています。

虐待は何故起こるのでしょうか？

家族間のストレス、住居や経済的な問題、親子の孤立など子育て中には様々な問題や悩みが起きてきます。その悩みを一人で抱え込む、親だけが責められることによりストレスが増加し子どもに当たってしまうことが多いのです。子育てをする中で生じる不安や寂しさといった感情も決して特別なものではないのです。子どもの虐待は、どこの家庭にも起こり得ます。

子育ては親だけでは出来ません。この流れを絶ち、虐待を解決するために、周囲の理解と適切な協力が絶対に必要です。親が子育てに苦勞されている現実がありますから、その気持ちを大事に考えることも大切です。

児童虐待相談対応件数（厚生労働省 HP より）



あらい絹世プロフィール

- 昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
- 現在、あらい敏二郎県議会議員秘書
- 横浜雙葉小・中 / 高等学校卒業
- ホノルルマラソン / 東京マラソン 完走
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 自民党かながわ政治大学12期生
- 日商岩井(株) / (株)メタルワン



子育てについて あらい絹世はこう考えます

子育てに関して「最近の母親は辛抱が足りないわね」とおっしゃる方がいるかもしれません。辛抱が足りなくなったのではなく、母親を取り巻く社会環境が変わったからではないでしょうか。

以前と比べ子育てに関する情報が氾濫しているため、情報に翻弄され育て方や発達に関する不安感を強めてしまいます。核家族が増え、子育て経験者のある親や祖父母と同居する母親は少なくなっています。また、地域のつながりが薄れ、近所の協力が得られにくくなり、育児に悩みがあっても4人に1人は子育ての悩みを相談できる人がいません。母親にとって不安を解消する場が少なく、また、社会から隔離されたような孤立感が増す一方です。子育てを経験したお年寄りが若い母親の子育ての悩みを相談にのる、などといった地域ぐるみの子育てが必要となってきます。

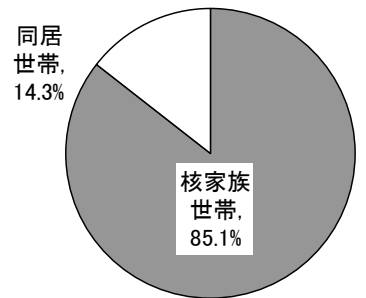
子供の生きる力は地域で様々な年齢の人と交流させることで子供たちの中にしっかりと根付いていきます。次の世代の担い手でもある子供たちが生きる力を伸ばすことが出来るような地域ぐるみの子育てが必要です。又「地域ぐるみの子育てまちづくり」においては、「地域の達人」としてお年寄りの参加が求められます。人生の経験を生かして、子供たちを指導することは、子供たちからすれば、教師や親以外の社会人に接する新鮮な刺激となり、お年寄りにとっては「地域の達人」として尊敬されることは、この上ない喜びであり「生きがい」となります。私、あらい絹世は、その様なお年寄り子供たちが交流できる場づくりを目指します。

子育てを取り巻く社会への不満と不安

社会全体が妊娠や子育てに無関心・冷たい	44%
子供を産みたい、育てたいと思える社会ではない	80%
不安や悩みを打ち明けたり、相談する相手がいない	21%

(財団法人こども未来財団アンケート参照)

世帯形態
(財団法人こども未来財団参照)



『成田山初詣と新春の集い』のご案内

日程：平成23年1月22日(土) 会費：7,000円

新春の集い：ホテルホリデーイン成田

詳細・申し込みは、あらい絹世後援会(TEL:045-751-5250 FAX:045-761-7451)まで



時節の川柳大募集

先月のお題は「大晦日」
沢山のご投稿有り難う
ございます

次回の お題は「お年玉」

貴方の川柳を次号「あらい絹世の磯っ子レポート」に掲載します。

- ・匿名、イニシャルで結構です。
- ・お住まいの町名、差し支えなければお名前をお書き下さい。
- ・お申し込みはFAXで(締め切りは12月27日です)
- ・残念ながら賞金・賞品の提供はございません。

大晦日
何回目かな
この年は(Kさん)

来年初の目標
先送り(あさこさん)

都会でも
この夜ばかりは
静寂に(Tさん)

不景気で
酔うほど飲めぬ
大晦日(Uさん)

街の中
誰もが走る
大晦日(Sさん)